

平成 29 年 7 月 25 日

代表世話人 長 田 恭 一
事務局 日清オイリオグループ

第 8 回 機能油脂懇話会（第 19 回 CLA 懇話会）開催のご案内

向暑の候、皆様方にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本懇話会に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて当会は、平成 22 年から「機能油脂懇話会」と改称し、様々な角度から油脂の機能性に関する研究について活動を継続しており、昨年の第 7 回までを盛会裏に終えることができました。

本年も、京都大学の菅原 達也先生を会頭に、また明治大学の長田 恭一先生にお世話いただき、第 8 回懇話会を以下の日程で開催します。

第 1 幕は、「新しい解析手法を用いた機能油脂による疾病予防・治療の可能性検証」と銘打って、新しい解析手法によって急速に進展してきた脂質成分による疾病の予防・治療に向けた最新研究の現状に焦点をあて、シンポジウムを開催することにいたしました。講演は関連分野において最先端を走る先生にお願いしております。

第 2 幕は、例年通りショートプレゼンテーションとして一般演題（口演）を募集させていただきます。奮ってお申し込みを頂きますようお願いいたします。

懇話会終了後、懇親会も予定しております。是非ともご参加頂きますようお願い申し上げます。

記

1. 開催概要

○日 時：平成 29 年 11 月 11 日（土）

13 時～17 時 30 分 シンポジウムおよび一般発表（受け付け開始：12 時）

18 時～20 時 懇親会

○会 場：明治大学駿河台キャンパス リバティータワー（東京都千代田区神田駿河台 1-1）

シンポジウムおよび一般発表 1146 教室（14 階）

懇親会 サロン燦（23 階）

○主 催：機能油脂懇話会 代表世話人 長田 恭一（明治大学教授）

○協 賛：日清オイリオグループ株式会社

○参加費：1,000 円（懇親会は別途 1,000 円）

2. プログラム (13 : 00～17 : 30) (予定、敬称略)

第1幕 開会の辞

「ミニシンポジウム：新しい解析手法を用いた機能油脂による疾病予防・治療の可能性検証」

- 1) 「MALDI-MSIによる代謝物イメージングによって発見した動脈硬化・大動脈瘤における新規病態と予防法の検討」

財満 信宏 (近畿大学農学部) (13 : 05～13 : 55)

- 2) 「多価不飽和脂肪酸による SREBP-1 の抑制と抗動脈硬化作用」

矢作 直也 (筑波大学医学医療系) (13 : 55～14 : 45)

- 3) 「中鎖脂肪酸の新規生理作用 (エピゲノム・消化管ホルモン活性化等) による体質改善機構」

望月 和樹 (山梨大学生命環境学部) (14 : 45～15 : 35)

小 休 憩 (15 : 35～15 : 50)

第2幕 一般発表 5演題 (15 : 50～16 : 55)

第3幕 総合討論 (16 : 55～17 : 15)

第4幕 表彰式および閉会の辞 (17 : 15～17 : 30)

3. 懇親会 (18 : 00～20 : 00)

4. 参加を申し込まれる方へ

参加をご希望の方は、別添の「機能油脂懇話会参加申込票」に記入して、9月30日までに「kinouyushi@nisshin-oillio.com」宛にEメール添付でお知らせください

5. 発表を申し込まれる方へ

発表申し込みは下記の要領で演題・発表要旨を8月31日までに、

「kinouyushi@nisshin-oillio.com」宛にEメール添付でお申込みください

6. 発表形式について

発表形式は口頭発表形式です。時間は発表10分、質疑応答3分を予定しております

発表スライドは準備の都合上、パワーポイント※でお願い致します

※Microsoft Power Point 2010 (OS : Windows) まで対応できます

7. 表彰 : 一般発表の中から、優秀発表者1名を表彰させていただきます

8. 申込・問合せ先

機能油脂懇話会事務局 : kinouyushi@nisshin-oillio.com

機能油脂懇話会 HP : <http://kinouyushi.org/>

※ご宿泊について

今次懇話会でご宿泊が必要な場合は、各自でご手配下さいますようお願い申し上げます。

発表要旨について

下記の要領に沿って作成頂くようお願い致します。また、作成した要旨はメールに添付して送付下さい（Microsoft Word での作成をお願いします）。

・要旨枚数：A4 1枚

・要旨の形式（例）

講演タイトル CLA の体脂肪低減効果に対する・・・・・・・・

発表者 ○○○○¹・△△△△²・□□□□³

所 属 ¹○○大学○○学部、²○○大学大学院○○研究科、³○○研究所

【目的】 _____

【方法】 _____

【結果】 _____

【考察】 _____

以上